平成２５年９月２６日

公益財団法人全国教誨師連盟
理事長　平　野　俊　興　殿

三重県教誨師会
会長　星　川　佳　信

第５７回名古屋矯正管区教誨師研修大会研修事業評価委員会について

標記について，下記のとおり実施したので報告します。

記

１　参加者

（１）第５７回名古屋矯正管区教誨師研修大会準備委員
星川佳信（三重県教誨師会会長），加藤幹夫（同副会長），
村尾憲一（同副会長），鈴木紀生（同事務局長）　　計４名

（２）三重刑務所
脇嶋守首席矯正処遇官（企画担当），桑名純平統括矯正処遇官（教育担当），
近藤宏美（法務教官）　　計３名

２　場　所　三重刑務所処遇棟２階会議室

３　日　時　平成２５年７月１１日（木）
午前９時３０分から午後零時１５分まで

４　内　容

（１）参加者の感想

（星川）教誨師が自主的に行う研修大会に発展していければいいと思う。宗派が異なるものをまとめる難しさを感じた。補助金が出るのかどうか終盤まではっきりしなかった。やはり補助金に頼らない運営をしていくことが大切ではないかと思った。

（加藤）研修会の運営に施設側に頼らず，教誨師も努力した大会だと思った。また経費についてもかなり節減の努力をしたと思う。今後も経費については抑えていく必要があると思う。今回は，グループワークといった教誨師が

自分たちが参加する新しい取り組みもあった。

（村尾）予算節減の努力は見られた。式典での服装については，クールビズを言われるのも分かるが，式典には正装と言うのが一般常識であることを理解すべきであった。

（鈴木）他の先生と同様の感想である。一日目のグループワークは，水を得たようであった。しかし，２日目の記念講演は雑談のような感じで，講師は話の内容をもう少し準備して欲しかった。その点が少し残念であった。

（首席）ほとんど先生方と同じ感想ですが，当日は何とか流れで進んでいくが，準備の段階の方が大変だった思います。

（近藤）今回は，準備段階から準備委員会を設立し，教誨師の意見を反映するするように努めた。特に分科会については消極的な意見もあったので，グループワークという教誨師がみんな参加できるような取組を行った。グループワークには当初不安があったようだが，当日参加している人の表情が明るかったので，安心した。

（２）アンケート結果について

（近藤）大会終了後に参加教誨師にアンケートを実施したところ，３２名の回答があり，集計した結果が，別添１の資料のとおりです。

ア　研修テーマについて

８７％の人が「適切であった。」との回答がり，一方，「適切ではなかった。」との回答は一人もいなかった。

研修テーマについては，おおむね好意的ではあったが，テーマと研修内容（基調講演，記念講演）との関連性が適切ではなかったとの意見もあった。

イ　研修内容については

８７％の者が好意的であったが，「適切ではなかった。」が１名いた。

アンケートの記述内容としては，「グループワークは，有意義な経験であった。」との意見が多かったが，「この研修の結果をどのように今後につなげていくか。」という意見も見られ，今後この経験をどのように継続して，教誨活動につなげていくかを示せなかった点は反省させられた。

また，同じ講師の基調講演については，「分かりにくかった。」の意見が見られた。

ウ　研修の成果については

「大いにあった。」が６８％，「どちらともいない。」が２９％であった。

アンケートの具体的な意見では，好意的な内容が多かったが，好意的な意見の中でも，「グループワークがよかった」，「記念講演がよかった」と言うように１日目，２日目の内容ごとに意見が分かれ，両日とも好意的には捉えなかったことが「どちらともいえない」という意見が増えた原因として思われる。

エ　実施体制については

「充分だった」が８４％，「どちらともいえない」が１３％であった。

アンケートの具体的な意見として「コンパクトなタイムスケジュールでよかった」と言う意見がある一方，「開催の連絡をもっと早く欲しかった」との意見が少なからずあった。

オ　全体を通じて

全体を通じての満足度は，「満足」が５２％，「やや満足」が３２％と「満足」が半数程度であったのは，アンケートの内容から１日目，２日目の評価が分かれていること，テーマに対する具体的な研修内容との整合性に理解を得られなかったこと，参加費が懇親会費を含め３万円になっていることが満足度を下げている要因になっているように思われた。

カ　その他

（ア）参加費の３万円について

（近藤）参加費については，一般に研修会は，１日５千円～１万円かかる，２日にわたれば，その倍になる，さらに宿泊費，懇親会は原則自己負担となる。ところが，教誨師の研修会では旅費として交通費のほかに，日当が１日２，２００円，宿泊費９，８００円で，一泊２日では１４，２００円の支給がなされる。したがって，実質的には３万円のうち，１５，８００円の自己負担でしかないことを理解していない。この点について，理事会を通じても良いので他の教誨師に説明していただきたい。

（村尾）そこまでしなくとも，担当県に当たれば，理解してもらえると思う。

（加藤）なかなか，教誨師自体も分かっていない人が多いと思う。

（イ）式典について

（加藤）式典は，もう少し簡素化を言うアンケート意見があったが，式典を簡素化し，グループワークの時間をもう少し私もとってほしかった。また，国歌斉唱が行われたが，国歌斉唱を嫌がる宗派もある。個人的な意見もあるかもしれないが，国歌斉唱はいろいろ意見のあるところだと思う。

（村尾）神社は特に問題があるわけではない。

（星川）私の宗派の中にも反対の意見がある。

（近藤）一応，国歌ですので。

（加藤）これを取り上げていくと収拾がつかなくなるので，教誨師の研修大会は，法務省の関係なので止むを得ないとは分かっていますが，そういう意見もあるということです。

（ウ）基調講演について

（鈴木）マイクの音量が小さかったのでないか。私は聞き取りにくかった。

（加藤）話の内容が専門的過ぎたのではないか。

（村尾）話のスピードが学生に話すなら適当かもしれないが，教誨師のような

高齢者の多い場合は早すぎたのではないか。

（エ）グループワークについて

（鈴木）今回のグループワークは参加していて楽しかった。

（加藤）今回，驚いたのは，明星さん（宮川医療少年院担当）が，とても表情が良かったこと。いつも批判的な意見を言われる方なのに積極的に参加していた。

（近藤）今回は，分科会形式を避けて，体験的なグループワークを実施したが，今回は，特に準備委員会を設け，何回も集まっていただき検討した。また，ジェイムス先生の京都橘大学まで時間をとっていただき星川会長，加藤副会長，村尾副会長が直接依頼に出向いてもらった。このようなことは多分前回の担当したときはなかったと思う。鈴木事務局長も準備会の打ち合わせが終わった後も，「私でできることがあれば言ってください。」と積極的に協力していただいた。そのことを考えれば，今回の研修大会は，教誨師さんが積極的に参加されたものと思う。

（オ）教誨師の研修大会へのかかわりについて

（加藤）私も以前に比べて，教誨師自身が結構参加していたと思う。特に，時間割で分担表が渡されたので，当日は教誨師個人も自分の役割がスムーズにできたように思う。しかし，どうしても教誨師自身だけではやれないところがあり，そこは，施設側の協力を得なければならない。

（星川）できるだけ教誨師も自分自身で研修会に参加するという意識を持ってもたらいたいと思う。

（カ）広報活動について

（星川）また，私たちの教誨活動をもっと広く広報していくことが必要だと思う。今回は，記念講演を一般公開としたが，一般参加がなかったのは残念だった。

（近藤）その点は，記者クラブへの投げ込みが事務局側で遅くなって申し訳ありませんでした。

（キ）記念講演について

（鈴木）その記念講演については，雑談みたいな感じで，この講演が教誨師の活動の一環としてあることをもう少し理解して，話の内容をまとめて欲しかった。

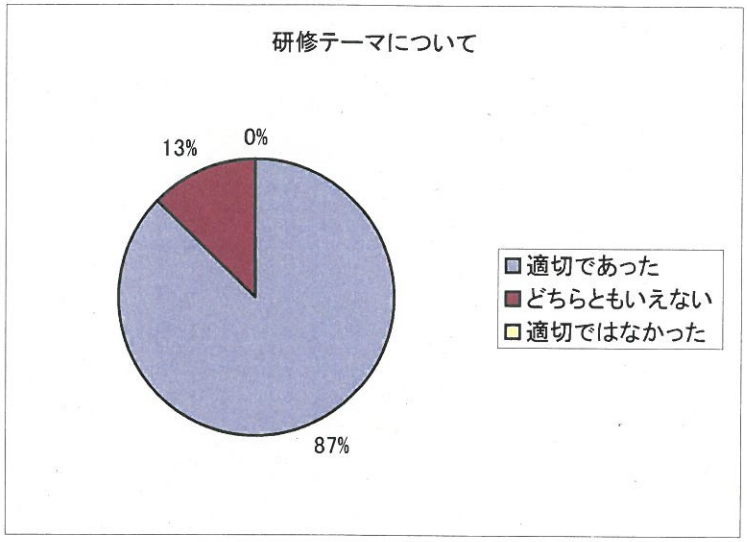
（近藤）記念講演の講師については，私から教誨師の研修会であることも説明し，今回のテーマも説明してありましたが，説明が不十分だったかもしれません。

（加藤）龍村先生は，自由人と言う感じでしたね。

＜研修会アンケートの集計結果（1）＞

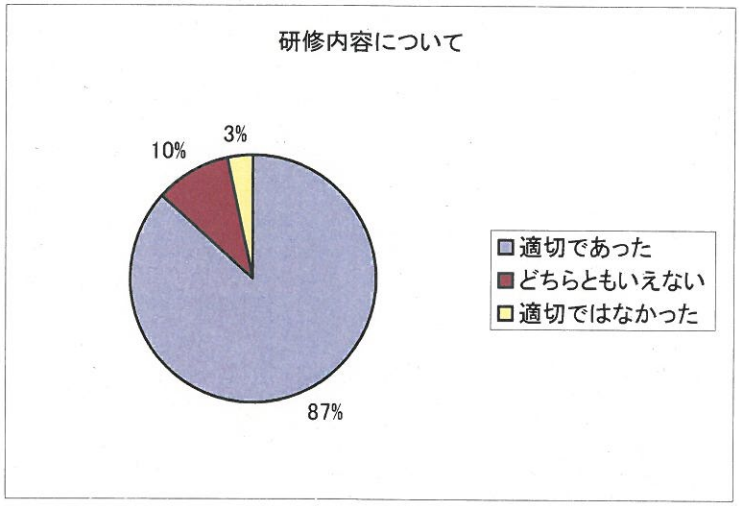
○研修テーマについて

	人数
適切であった	27
どちらともいえない	4
適切ではなかった	0
合計	31



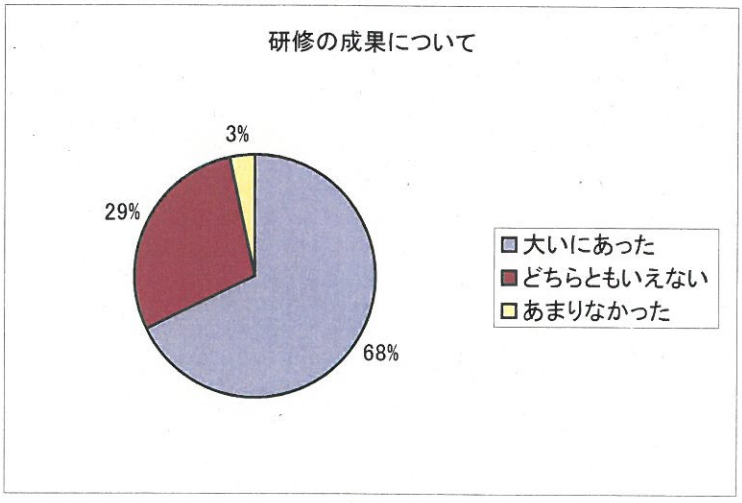
○研修内容について

	人数
適切であった	26
どちらともいえない	3
適切ではなかった	1
合計	30



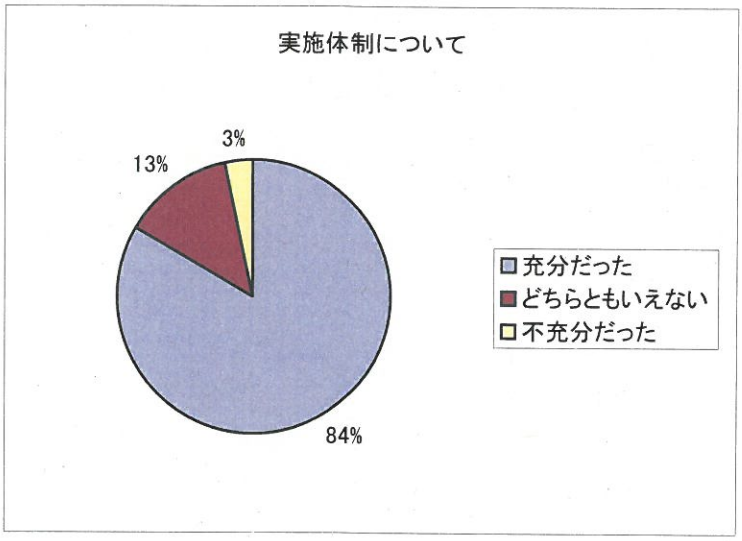
○研修の成果について

	人数
大いにあった	21
どちらともいえない	9
あまりなかった	1
合計	31



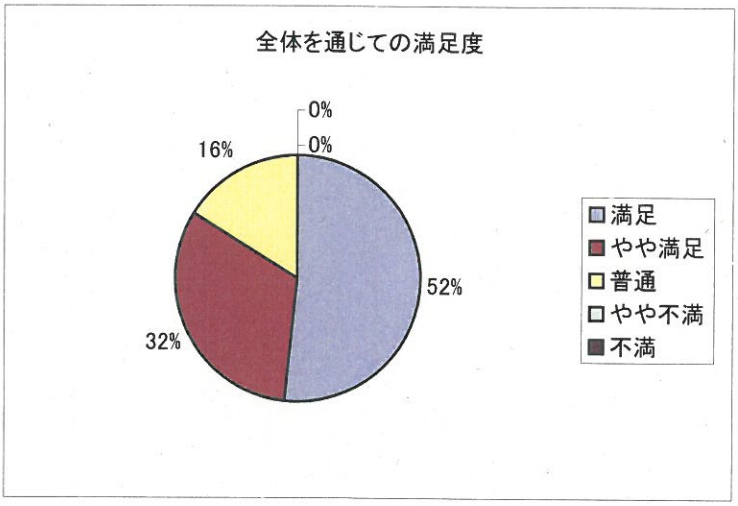
○実施体制について

	人数
充分だった	25
どちらともいえない	4
不充分だった	1
合計	30



○全体を通じての満足度

	人数
5 満足	16
4 やや満足	10
3 普通	5
2 やや不満	0
1 不満	0
合計	31



＜研修会アンケートの集計結果（2）＞

研修テーマについて

- ○ 人と人のつながりを大切にすることこそ人間存在の証しです。
- ○ テーマだけが浮き上がっているときもあると思う。
- ○ テーマ，サブテーマにそった良い企画でした。
- ○ 心の回復，人間の回復が強く願われる。
- ○ テーマと研修内容（基調講演，記念講演）の関連がどうであったか？
- ○ A級の受刑者には適切であったと思う。
- ○ 人と人とのつながりが感じられない中で，益々絆の大切さとやさしさを持っていくのが教誨師として求められている。
- ○ つながりはとても大切
- ○ テーマについては，立派であったが三重刑務所内において研修会を催して勉強していなかったので，何とも云えないです。

研修内容について

- ○ 談合（グループワーク）は良かった。
- ○ プログラムによる少人数グループによる対話研修は学ぶものが多かったと思います。
- ○ グループワークが良かった。他宗教の先生方の心に触れられたことに感謝します。
- ○ 1日目の講師の講演は余り感心しなかったが，サークル活動はよかった。2日目の講演は最高に良かった。
- ○ 心理学応用編の活用が上手であった。
- ○ グループワークはとても参考になりました。2日目の講演はとても良かったと聞きまし
- ○ 特にグループワーク体験は，新鮮であった。
- ○ 実験的体験をしながらの研修は有意義であった。
- ○ お二人の講師とも，大変興味深くお話を聞かせていただき，学ぶことが多かった。
- ○ 内容それぞれの示唆に富み，適切と思う。
- ○ グループワークの体験を通して，コミュニケーションがとれてよかった。
- ○ 基調講演は分かり辛かった。
- ○ カウンセリングの発展形としてのグループの対話は，発言の内容とは別に，受刑者の心理的緊張緩和には有効だと思う。次の段階の改善につなげることができると思う。
- ○ グループの持つ力の実践・体験学習は良かった。もう少しグループワークの理論を聞きたかった。
- ○ ただし，いつものことだが，基調講演，記念講演共に，講演者が主催者の提示した演題に基づかない内容が多い。講演内容そのものは，それはそれで参考になるけれど。
- ○ 特に龍村仁氏の講演，地球は一つの生命体，命はつながりをもっている。

研修の成果について

- ○ お互いの内面に一歩入ることができたのでは，
- ○ 基調講演，グループワークの実習，記念講演内容共大変良かった。
- ○ 刺激され，啓発された。
- ○ 今後，個人グループ集団，施設外でも利用できると思った。
- ○ 龍村仁から学ぶことが多くあった。
- ○ 実践がよかった。
- ○ 特に龍村氏の「感動は心を素直にする」の言葉は，教誨に最も必要と思った。
- ○ 参加者もそれぞれにはればれとした顔で満足そうでした。
- ○ 特にジェイムス朋子先生の講演や実技は大変ユニークで，自分の教会の信徒研修会で，実際にやってみたところスムーズな懇談に盛り上がり大変良かった。講師に感謝し
- ○ 大会で何回も見ているがグループワークで始めて話ができてよかった。
- ○ 「記念講演」はいろいろ参考となった。
- ○ 生物，無生物を問わず，生命という観点は善性の論拠として有効
- ○ 楽しい中にも自分自身を見つめるきっかけになったと思う。他人の意見も素直に聞くことができ非常に良かったと思う。
- ○ 短時間のグループワークの体験でグループがまとまってくることに驚きを覚えた。もう少しスーパーバイザーの育成理論が聞きたかった。
- ○ 事例研究もいいが，大きな視野に立っての話は，原点に帰るような気がする。

実施体制について

- ○ 研修における個人の満足感を研修テーマの核までつなげきれなかった。
- ○ もっと早く連絡してほしかった。
- ○ 講演のみでなく，体得して学ぶところのよさを感じた。
- ○ もったいないぐらいでした。
- ○ 担当地区の教誨師会に経済的負担が大きくなるのは再考すべき
- ○ 大変気を配っていただいた体制で感謝しています。
- ○ これは，主に役員の先生方，矯正施設職員の方々によるご尽力賜物と感謝している。
- ○ 準備，実施，御苦労様でした。
- ○ コンパクトにタイムスケジュールが組まれてよかった。
- ○ 研修会参加案内が遅い。
- ○ 大変御苦労さまでした。
- ○ 職員様始め，教誨師一同。それぞれ頑張っておられました。充分だったと存じます。

研修会全体の感想

- ○ スムーズな進行で良好でした。
- ○ 楽しかった。学習できました。
- ○ 教誨師の責務を再確認することができた。
- ○ グループワーク＆講演内容共に新鮮な刺激があり，受講して意義があったと思った。
- ○ グループワークの実習など，教誨師間の交流に成果があった。
- ○ よく準備され，整えられた研修会でした。部屋も一人で利用できてゆっくりくつろぐことができました。
- ○ 施設職員の参加が望ましく感じた。
- ○ 県連の皆様に感謝
- ○ すっきりした内容で気持がよかった。
- ○ 参加者との会話が多く持てた。
- ○ 式典を簡素化できないものか。
- ○ 良かったと思う。
- ○ 基調講演（特にグループワーク体験より，教誨師間が密になり，各師の考え方を知ることができた。記念講演も大変よく，大自然の大いなる力に感動した。
- ○ 役員会等を午前中にするなど，経費節約に努めたことは評価されると思う。
- ○ 二日目の研修も地球生命の考え方に共感を覚えました。
- ○ 大変良かった。ただ，これからも経費のかからない運営のあり方をお願いしたい。
- ○ 良好
- ○ 私の難聴のためかマイクに入る雑音か，記念講演の話が聴き取れなかった残念でし
- ○ 30，000円（参加費，懇親会）は高いのでは？
- ○ 受刑者収容状況の情報も欲しかった。
- ○ 一泊の割りに内容が豊かで，交通の便も良く，宿泊施設も良かった。
- ○ 大変良かった。しかし，アンケートはもっとすぐの方が良いと思う。
- ○ 経費を抑えることができてよかった。
- ○ 講師の魅力が講演，研修ともにもう少し時間があればと感じた。
- ○ 別途，懇親会費徴収はいかがなものか。予算上の問題もあると思うが，管区内でよく議論されてのことかどうか？
- ○ 十分満足！
- ○ 公開講座と名乗っていたようですが，座席はほとんど○○でした。

研修会の課題・改善すべきと思われる点

- ○ 人が生きることの方向性とモノ・カネの問題
- ○ 所属施設以外の職員との交流，又は施設からの教誨師への要望
- ○ 残念なのは，ワークしたこと，講演の内容を主体的に受け止めた点を自らが確認し，それをグループや全体と分かち合う（交換し合う）時間が持てなかった点
- ○ 今回の研修会ではワークが行われました。とてもよい試みだと思いました。時間をもう少し長く取って欲しかったです。
- ○ 年齢的に高齢者が多く感じ，若年教誨師の参加が望ましく思った。
- ○ もう少し，ラクにしても良いかと思います。準備のご苦労を思った。
- ○ 多くのところで所に頼っている。教誨師自らが動かねばと思う。

- ○ 初日の実施体験の成果を”どういかすか”ともう少し話してもらいたかった。二日目ではもう少し映像を多く取り入れてもらいたかった。
- ○ 矯正施設職員の負担をなるべく軽くしたい。
- ○ 式典を簡素化し，質疑応答の時間を長くしてほしい。
- ○ 生命，行刑，被害者等重い内容の問いにバランサーとして，気楽な講演という組み合わせを考えると，重い内容のバランスが軽かったのでないか。
- ○ 君が代の斉唱は，いかがなものか。
- ○ 役員，職員の皆様お疲れ様，ありがとうございました。
- ○ 管区の研修会は毎年開催されているのだから，来賓の祝辞は代表者一人で十分，一口に教誨といっても，施設ごとで全く内容も取りくも違うので，今の様な総花的なものではなく，中央研修会の様な，対象者を限定した。現場で役立つ研修会へと改変して欲しい。これは，管区や各県の問題ではなく，全連の意識の問題
- ○ おもてなしには費用がかかる，いかにして減らすことができるのか？

研修会で得ることができた教訓，その他アピールしたい点等

- ○ 研修の実施に女性のスタッフの出る場はないのか・・・・
- ○ 施設職員や被収容者から宗教に求めるものの大きさや重要性を知ることができた。
- ○ 宗教者は日常生活の中での自らの信仰実践を他の人々と分かち合う場＝研修会になればと思う。
- ○ 龍村仁氏の記念講演は，日本人の深層にある精神文化の源流を尋ねる様はとても感銘深い内容であった。各地で開催される研修会の講師の選定の大切さを改めて感じ
- ○ 人と人とが繋がる基本は，顔と顔を合わせること，言葉を交わすこと，相手の話を聞くことであるとワークを体験して再確認しました。
- ○ 普段お会いすることのない色んな教誨師さんのお姿から色んなことを学びました。
- ○ 今少し簡素化できないか。教誨師より施設職員の方が多いこと。
- ○ 微力ながら，お役に立てさせていただきたいと思いました。
- ○ 教誨師はとかく話し方であるので，聞き方に徹することの大切さが判ってよかった。
- ○ ロールプレーイングでのコミュニケーションの取り方，地球生命体の考え方に基づく人との関わり”おかげさま”の気持ち
- ○ 人間性の回復
- ○ 研修会における講演は今少しポイントを絞っていただいたのか可
- ○ これからもグループワーク式な話し合いの場を持ったらどうかと思う。
- ○ 平野会長とお話できたことは，ラッキーでした。我々レベルでのグループ対話は懇親になると思いました。
- ○ グループワークの手法を工夫して，宗教座談会，個人教誨に実践できれば教育効果があがるかも？
- ○ 大局を見つめれば，細部がわかる。
- ○ 研修会テーマは，正に社会的にも合致する内容を包含するものと思います。
- ○ 個人的な面で，とても満足するところがあったけれども，その満足がそこにいるメンバーに支えられていたというところまで確認できて，それをお互いに分かち合うところまで極められなかった点において言うに言えぬほどよかった。

その他

- ○ 研修の成果：県外，宗派外教誨師との交流
- ○ 研修の成果：サークル活動と2日目の講演
- ○ 研修の成果：人の話を聞くことの大切さを再認識した。
- ○ 研修の成果：カウンセリング
- ○ 研修の成果：グループワーク体験がたいへんよかった。
- ○ 研修の成果：グループワーク
- ○ 研修の成果：グループワーク
- ○ 研修の成果：分団がよかった。